

日時:2012年9月18日(火)17:20 – 19:15

場所:横浜国立大学常盤台キャンパス FA 会場

司会:領域2代表 安藤

書記:幹事 田村

出席者:安藤, 米田, 菊池, 重森, 井, 荒巻, 三好, 田村, 蓮尾, 出射, 永岡, 宮戸, 古川, 東口

【2012年9月19日(水)の運営会議の議事次第確認しつつ、以下の事を議論, 決定した。】

1. 2012年10月からの新役員体制について

以下の方々が、2012年9月で役員任期終了となる。

役員	荒巻光利	名古屋大学
役員	井通暁	東京大学
役員	重森啓介	大阪大学レーザー研

2012年10月からの役員体制(案)は以下の通り(~2013.3 まで)。

領域代表	安藤 晃	東北大学
領域副代表	米田仁紀	電気通信大学
領域前代表	菊池 満	日本原子力研究開発機構

○ (2013.9 まで役員)

役員	三好隆博	広島大学
役員	田村直樹	核融合研
役員	蓮尾昌裕	京都大学

○ (2014.4 まで領域委員、任期は 2011.9~2014.9)

役員(領域運営委員)	出射 浩	九州大学
役員(領域運営委員)	永岡賢一	核融合研
役員(領域運営委員)	宮戸直亮	日本原子力研究開発機構

○ (2014.9 まで領域委員、任期は 2012.10~2015.9)

役員(領域運営委員)	岡本 敦	東北大学
役員(領域運営委員)	東口武史	宇都宮大学
役員(領域運営委員)	横井喜充	東京大学生産研

2. 役員の役割分担について

大会(プログラム編集・会場設定)	宮戸(正)、出射(副)、岡本、東口
シンポジウム・招待講演・企画講演	出射(正)、宮戸(副)、蓮尾、三好
3学会合同世話人	三好、永岡(正)、横井
ビーム領域との合同セッション担当	蓮尾(正)、東口、出射
表彰・若手奨励賞	米田(副代表)
学生優秀発表賞	開催時の代表、副代表、(事務担当:田村、宮戸、岡本)
会計・予算	安藤(代表)
学会連携(2年間)	田中、古川、菊池、安藤、永岡、東口
広報(ホームページ)	永岡(正)、横井(副)
メーリングリスト	田村(正)、永岡
編集(JPSJ)	米田(副代表)
役員会・運営会議幹事(書記)	田村(正)、岡本

3. 副代表の推薦について

- 2012年から領域代表、副代表の任期開始月が4月からに変更になった。2013年4月からの領域2副代表に斎藤輝雄先生(福井大学)を推薦したい旨説明があり、明日の領域2運営会議に諮ることとした。

4. 学生優秀発表賞について

- 初回の第67回年次大会での実施結果について、田村さんから紹介することとした。
- 物理学会誌9月号に、領域2学生優秀発表賞実施についての紹介記事が掲載されたことについても紹介することとした。
- 学会誌掲載に対して頂いた掲載料については、領域2懇親会費などにあてることとした。

5. 若手奨励賞選考(第7回(2013年))について

- 米田さんから、以下の2名を受賞候補者として推薦したい旨紹介することとした。
 - 本田充(日本原子力研究開発機構)
 - 伊神弘恵(核融合科学研究所)
- 若手奨励賞の細則の変更について確認した。
- 受賞候補者と審査委員の関係について意見があった。

6. 第68回年次大会について

- 第68回年次大会の場所、スケジュールについて確認した。

7. 第68回年次大会での招待・企画講演、シンポジウムの提案状況

- 現時点で提案されている招待講演1件、シンポジウム4件(ビーム物理領域との合同が1件)について説明があった。
 - 招待講演:「サブテラヘルツ帯2次高調波ジャイロトロンの高出力発振と非線形モード間相互作用」斎藤輝雄先生(福井大学)(提案者:出射浩先生(九大応力研))
 - シンポジウム:「非平衡極限プラズマダイナミクス –その多様性と普遍性–」(提案者:伊藤公孝先生(核融合研))
 - シンポジウム:「乱流が引き起こす角運動量輸送 –実験室プラズマから宇宙プラズマまで–」(提案者:横井喜充先生(東大生産研))
 - シンポジウム:「プラズマ宇宙物理」3学会合同シンポジウム(提案者:三好隆博先生(広島大))
 - シンポジウム:「高電界粒子加速の展望」(ビーム物理領域との合同シンポジウム)
- 伊藤公孝先生提案のシンポジウムについて、類似のシンポジウムが続いていることから領域代表会議で問題になるのではないかという意見があり、対応を協議した。

8. 「プラズマ宇宙物理」3学会合同セッションについて

- 決定済み(発表形式、第2キーワード)、協議中の事項(シンポジウム2件)について確認した。
- 領域11との協力の可能性について、協議した。
- 3学会合同セッションの一般講演への(特に物理学会員以外の人)の申込方法について確認した。
- 領域2学生優秀発表賞審査対象として、3学会合同セッション内での発表をどうするか対応を協議した。その結果、物理学会所属の学生のみを対象とすることとした。

- 3学会合同セッションに関するインフォーマルミーティングについては、三好さんが申し込むこととした。

9. 講演プログラム変更申請について

- これまでにも何度か決定した講演日に対して変更依頼があった。それへの対応を協議し、原則、自己都合によるプログラムの変更申請は受け付けない、ただし、事情に応じて議論する場合があることなどとした。

10. 物性分野における領域の略称・表示に関する提案について

- 物性分野における領域の略称・表示に関する提案に対する各領域の意見などが紹介された。
- 理事会からの再提案(領域番号制を残すが、領域名や領域略称をつけることを推奨など)に対する領域2の対応について協議した。

11. PLASMA2014 開催に向けて

- PLASMA2014 に向けての準備状況について確認し、明日の領域2運営会議でそれについて説明することとした。
- PLASMA2014 における発表形式やその開催地などについて意見交換がなされた。

12. その他

- 明日の運営会議でその他として、以下の件について報告があることを確認した。
 - 日本学術会議報告について(安藤さんが紹介予定)
 - 科研費の新学術領域研究申請について(京都工繊大学の比村先生が紹介予定)
 - APPC-12 について(菊池さんが紹介予定)

以上